



今改めて考える

# 「遷宮・式年造替」とは何か



三重県  
奈良県  
島根県  
皇學館大学  
連携シンポジウム

平成25年に式年遷宮を迎えた伊勢神宮。同じ年、出雲大社では「平成の大遷宮」の本殿遷座祭が行われ、現在も第2期事業が行われています。そして平成28年には、春日大社で「式年造替」が行われました。この記念すべきときに、日本を代表する神社と伊勢、大和、出雲それぞれの魅力をお伝えするシンポジウムを開催します。

平成29年

3月4日(土)

13:30~16:00 (12:30開場)

大阪産業創造館  
4階イベントホール

大阪市中央区本町1-4-5

● 基調講演 (40分)

起源の語り と、遷宮儀

～意識伝承された起源譚から、造替遷宮儀を彷徨う～

〈講師〉

出雲大社 権宮司 千家和比古氏

受講料  
無料  
定員250名様  
(先着順)

ハガキによる  
事前申込が  
必要です

● シンポジウム (90分)

『遷宮・式年造替』とは何か

〈三重県パネリスト〉

皇學館大学 研究開発推進センター教授

岡田芳幸氏

〈奈良県パネリスト〉

春日大社式年造替奉賛会事務局次長・春日大社 禰宜

今井祐次氏

〈島根県パネリスト〉

出雲大社 権宮司

千家和比古氏

〈司会〉

万九千神社 宮司、しまね観光PR大使

錦田剛志氏

※詳しくは裏面をご覧ください。



主催：三重県・奈良県・島根県・皇學館大学

お問い合わせ

島根県商工労働部観光振興課  
TEL:0852-22-6908  
(平日8:30~17:15 土日祝休)



# 今改めて考える『遷宮・式年造替』とは何か

## 三重県パネリスト

皇學館大学 研究開発推進センター

教授 岡田芳幸 氏



昭和27年 愛知県生まれ。皇學館大学大学院文学研究科修士課程国史学専攻修了。皇學館大学神道博物館教授を経て皇學館大学研究開発推進センター教授・学芸員。主な共著書に『伊勢と出雲の神々』、特別展『神社名宝展』図録、『三重県史』別編民俗、別冊太陽『伊勢神宮』ほか

春日大社式年造替奉賛会事務局次長

春日大社 禰宜 今井祐次 氏

## 奈良県パネリスト

昭和35年奈良県生まれ 國學院大學大学院神道学専攻卒業 昭和61年春日大社奉職 祭儀課を経て梓司課課長、また広報研修部長として春日大社の研修施設「感謝・共生の館」で各種研修を担当。平成23年よりは20年毎に執り行われる春日大社式年造替の募金活動を行う事務局の次長として、春日大社の歴史由緒、御造替の意義について語り伝えている。



## 基調講演講師・パネリスト

出雲大社

権宮司 千家和比古 氏

昭和25年島根県出雲市大社町生まれ。國學院大學大学院文学研究科(日本史学考古学専攻)修士課程修了。國學院高等学校教諭を経て、昭和60年から出雲大社に奉職。主な共著書に『上総山王山古墳』『日本玉作大観』『古代を考える 出雲』『古代出雲と風土記世界』『伊勢と出雲の神々』『出雲大社』など。

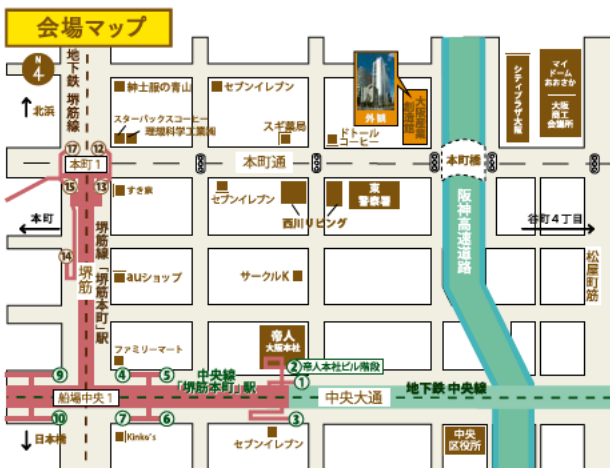


万九千神社 宮司

しまね観光PR大使 錦田剛志 氏

昭和44年、島根県出雲市斐川町生まれ。國學院大學文学部史学科考古学専攻卒業。元島根県教育庁企画員、県立古代出雲歴史博物館専門学芸員を経て神職に専従。前島根県神社庁参事。しまね観光PR大使。主な共著書に『出雲大社ゆるり旅』、『神々集う出雲の國 神在月』、『出雲大社平成の大遷宮』ほか。

## シンポジウム司会



## 応募方法等

- ・ハガキによる事前申込制/ハガキに次の事項を記載してお申し込みください。「連携シンポジウム受講希望」、氏名(ふりがな)、同伴者氏名(ふりがな)、住所、電話番号
- ・申込先: 〒530-0044 大阪市北区東天満1-11-15 若杉グランドビル別館603号 島根県大阪講座係
- ・応募の締切: 平成29年2月20日(月)必着 ※定員に達し次第締め切ります。
- ・当落の連絡: 平成29年2月20日(月)以降、受講の可否を記載したハガキを順次発送します。

会場 大阪産業創造館  
住所 大阪市中央区本町1-4-5  
交通 大阪市営地下鉄「堺筋本町駅」より徒歩約5分

お問い合わせ 島根県商工労働部観光振興課  
TEL: 0852-22-6908  
(平日8:30~17:15 土日祝休)